

京都府薬物乱用防止指導員協議会

取組事例集

イベント啓発、街頭啓発での取組事例

北区薬物乱用防止指導員協議会

○北区紫竹まつりにおける街頭啓発（令和5年度）

取組を計画したきっかけ、実施までの経緯

地域のイベントに合わせ、薬物乱用防止の啓発を計画・実践した。

工夫した点、苦慮した点

薬物乱用防止の呼びかけと共にリーフレットやティッシュ等の啓発資材を手渡した。

中京区薬物乱用防止指導員協議会

○三条会ハロウィンにおける街頭啓発（令和5年度）

取組を計画したきっかけ、実施までの経緯

三条会ハロウインの実施に合わせて薬物乱用防止の啓発を計画。許可をいただき、指導員に参加者を募り実施。

工夫した点、苦慮した点

若年層に対する啓発効果を期待できる日時で実施。

伏見区薬物乱用防止指導員協議会

○大手筋商店街における啓発パレード（令和5年度）

取組を計画したきっかけ、実施までの経緯

10年以上にわたり、白バイの誘導を先頭としたパレードを実施している。地域の中学校（京都市立伏見中学校）の吹奏楽部約50名と伏見警察署、京都保護観察所、伏見地区保護司会が参加し、薬物乱用防止を訴える垂れ幕を掲げて啓発している。

工夫した点、苦慮した点

- 当初は伏見区薬物乱用防止指導員のみでの取組であったが、中学校吹奏楽部や伏見警察署の協力を受けて現在の形になっている。
- 啓発の際の配布物として薬剤師会や保護司会からの提供があり、充実した啓発活動となっている（絆創膏、ポケットティッシュ、ボールペン等）。
- ブラスバンドの準備のための場所の確保や楽器の運搬の調整に苦慮した。



乙訓薬物乱用防止指導員協議会

○スーパーの店頭における啓発活動、イベント（たそがれコンサート、ガラシャ祭、向日市まつり）における啓発活動（～現在まで）

取組を計画したきっかけ、実施までの経緯

- スーパー及びイベントでの啓発は、広い世代の人々を対象とすることができるため実施した。
- スーパーでの啓発は、指導員が参加しやすい日時を考慮して実施日を決定した。
- スーパーの責任者に啓発の内容や目的等を事前説明して、実施許可を得た。
- イベントの主催者と啓発のために使用できるスペース等を事前相談して、出店許可を受けた。

工夫した点、苦慮した点

- より多くの人にリーフレットを見てもらうため、ポケットティッシュにリーフレットを収納して配布した。
- イベント毎に集まる人の属性や使用できるスペースが異なることから、イベントに応じた啓発媒体を使用した。
- 関係機関である地元警察署とも連携して、啓発をした。
- 新聞社に対しても、啓発の実施について情報提供をした。



R4 たそがれコンサート



R4 ガラシャ祭

薬物乱用防止指導員綾部地区協議会

○「綾部産業まつり」「安全安心まちづくり綾部市民大会」における啓発活動（令和4年度～）

これまでの継続事業として、イベントへの参加や啓発資材の配布を実施している。

薬物乱用防止指導員宮津・与謝地区協議会

警察OB、薬剤師、保護司等、様々な活動の中で個人の分野を活かした啓発活動を実施している。実施先は、各自治会の集会や中学校等である。

● 薬物乱用防止教室における取組事例

左京区薬物乱用防止指導員協議会

○動画等を用いた薬物乱用防止教室

取組を計画したきっかけ、実施までの経緯

自治連合会・保護司会・薬剤師会・更生保護女性会・BBS会・薬物乱用防止指導員協議会、学校運営協議会、各学校の先生方からの協力を得ながら実施している。

内容

1) 薬物についての薬学的な説明。

左京区薬剤師会の先生による薬物の薬学的な説明をしていただいている。後半では、文部科学省が制作した薬物依存症についてのビデオ放映を行っている（放映に関し、文科省の許可を得ている）。

2) 薬物を誘ってくる人に対してキッパリと声を出して断るロールプレイ

見本のロールプレイを参考に、生徒には実際に薬物の誘いを断る役を交互に演じてもらう。薬物を誘ってくる人には近づかない、大きな声で断る等を学んでもらう。

3) 「薬物依存症は病気です」啓発ビデオの放映

左京区保護司会が関係団体と協力して作った「薬物依存症は病気です」というメッセージビデオを見てもらう。やめられないのはあなたがダメなのではなく、それが薬物依存症という病気だということ、そして病気には治療が必要である、というメッセージを届けている。

- 洛北中学校出前授業
<<https://www.youtube.com/watch?v=dLPiz3oA670>> (令和4年3月制作)
<https://www.youtube.com/watch?v=5eSg-JiT_mk> (令和4年11月制作)
- 近衛中学校出前授業
<<https://www.youtube.com/watch?v=Dku-t2uQYfQ>> (令和5年1月制作)



東山区薬物乱用防止指導員協議会

東山区では、校区にある公立学校のうち、東山泉小中学校、日吉ヶ丘高校、東山総合支援学校の3校で薬物乱用防止教室を実施している。薬剤師会や東山警察署、東山保護司会に所属する東山区薬物乱用防止指導員が中心になり学校と連携して取り組んでいる。

東山泉小中学校での取組

- 東山泉小中学校は今年で統合10周年を迎えたが、統合前の月輪中学校の時から薬物乱用防止教室を実施している。月輪中学校閉校時に生徒会で独自に薬物乱用防止啓発動画づくりや啓発活動を行い、統合後も引き続き、薬物乱用防止教室などの活動を継続してきた。
- 9年生（中学校3年生）と6年生を対象にした薬物乱用防止教室を各年1回実施し、指導員である東山警察署のスクールサポーターと学校薬剤師が講師となり、その他の指導員も参加する形で講演と意見交換を行っている。
- 新型コロナの影響で啓発活動は中断していたが、令和4年11月に発足した生徒会では美化保健委員会を中心に広報活動を再開することになり、令和5年2月に行われた「東山区社会を明るくする運動の集い～作文表彰と発表～」の際に、児童生徒会代表がスローガンを発表した。さらに生徒自身が薬物乱用防止啓発のイラストを作製した。そのイラストをカードに印刷し、ポケットティッシュに差し込み啓発ティッシュとして活用している。児童生徒を対象にした校内での啓発活動や夏祭りなどの地域行事で指導員が配布している。カードの印刷は東山区薬物乱用防止指導員協議会の経費で行い、ポケットティッシュは京都府薬務課から提供していただいた。
- この一連の取組は、令和5年6月11日に福岡市で開催された第74回指定都市学校保健協議会で「学校・家庭・地域の連携協働による学校保健活動」の事例として東山泉小中学校から報告された。



東山泉小中学校啓発イラスト

京都市立日吉ヶ丘高校での取組

- 指導員である東山警察署のスクールサポーターが講師となり、その他の指導員も参加する形で、講演と意見交換を行っている。また、英語教育を重視している日吉ヶ丘高校の特色を生かし、全生徒に英文での薬物啓発冊子を配布して生徒の関心を高め、保健での学習に活用している。

京都市立東山総合支援学校での取組

- 職業教育を重視した高等部という東山総合支援学校の特色を生かし、卒業前の1月ごろに指導員である東山警察署のスクールサポーターと学校薬剤師が講師となり、その他の指導員も参加する形で、講演と意見交換を行っている。ここには地域の社会福祉協議会の方々も同席している。

南区薬物乱用防止指導員協議会

○寸劇や絵本の読み聞かせによる薬物乱用防止教室（令和5年度）

少年による大麻乱用や非行の低年齢化が問題となっている状況であるため、薬物乱用防止教室を実施した。

取組を計画したきっかけ、実施までの経緯

継続することが大切であり、平成28年度から警察と少年補導委員の協力により実施している。

工夫した点、苦慮した点

寸劇や絵本の読み聞かせ、ビデオの視聴など、児童にわかりやすいよう工夫した。



伏見区薬物乱用防止指導員協議会

○啓発パレード参加生徒や保護者に対する薬物乱用防止教室（令和5年度）

取組を計画したきっかけ、実施までの経緯

- 京都府警察の協力のもと、指導員による薬物乱用防止教室を各地区で開催する予定。
- 啓発パレードに参加する京都市立伏見中学校の吹奏楽部の生徒を対象に、薬物乱用防止教室を実施した。啓発パレードを実施する前に、参加する生徒自身に薬物の恐ろしさを知ってもらい、なぜ薬物に手を出してはいけないかを考えてもらった。
- 保護司会と伏見区薬物乱用防止指導員協議会が共同で啓発や勉強会を計画している。

乙訓薬物乱用防止指導員協議会

○薬物乱用防止教室（～現在まで）

取組を計画したきっかけ、実施までの経緯

- 学校から、児童を対象に薬物乱用防止教室をしてほしいとの要望があった。
- 養護教諭と打合せを行い、児童の年齢、人数等を考慮して、話す内容等を検討した。
- 講師となる指導員、保健所職員が参加した。

工夫した点、苦慮した点

- 危険は身近にあることを認識してもらうため、分かりやすいスライドを用意した。
- 薬物を誘われた際の断り方について、ロールプレイを実施した。
- 感想文やアンケートを記載してもらい、改めて薬物乱用防止について考えてもらうとともに、今後の講師の説明に役立てた。
- その場で質問できない児童のため、気になることがあれば感想文に質問を書いてもらい、別途回答をした。
- 薬物乱用防止教室以外の時間にも考えてもらうため、薬物乱用防止読本を配布した。

薬物乱用防止指導員綾部地区協議会

○小学校、中学校、高等学校における薬物乱用防止教室の開催（令和2年度～）

取組を計画したきっかけ、実施までの経緯

- 指導員が薬物乱用防止教室に参加。
- 以前は保健所職員が薬物乱用防止教室を実施する際に指導員も参加していた。

工夫した点、苦慮した点

- コロナ禍では実施が困難であった。
- 指導員が交代すると、まずは指導員自身が薬物乱用に関する知識を付ける必要があり苦慮している。
- 一部の指導員が積極的に薬物乱用防止教室を実施しているが、他の指導員はそのことを把握していない点が問題である。

薬物乱用防止指導員宮津・与謝地区協議会

○小学校、中学校における薬物乱用防止教室の開催

工夫した点、苦慮した点

- 薬物標本の回覧やビデオ視聴をし、リーフレットやポケットティッシュを配布した。
- 配布したリーフレット等は保護者にも見てもらうようお願いしている。
- 小学校の教室では終了後に感想文を書いてもらい、指導員にフィードバックしてもらっている。
- 最近では警察関係者や学校医が薬物乱用防止教室を実施しており、指導員が実施する機会が少なくなっている。

• その他の取組事例

薬物乱用防止指導員綾部地区協議会

○「植えてはいけないけし」抜去の見学（平成27年度）

保健所職員指導の下、アツミゲシの抜去作業を行った。